

YRS  
ユアーズ

横浜ラポール  
Support

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

# 横浜ウェーブ

第176号

## トピックス

## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、聴覚障害者情報提供施設事業をご利用いただき、ありがとうございます。

意思疎通支援事業や聴覚障害者相談事業をはじめとした全事業につき、サービス向上を目指してきました。特に相談事業については、計画に基づいたご自宅等への「定期訪問活動」を積極的に進めました。訪問により各種ご相談に応じた他、相談担当職員が作成した「●●さんの防災チェックシート」を活用し、その方の避難所の場所、居室の安全確認等、個々の聴障者への災害への備えに関する啓発にも取り組みました。関係団体との連携については、横浜市聴覚障害者協会の呼びかけで「聴覚障害者災害救援横浜市域本部」が再結成され、啓発を主眼とした活動を急ピッチで進めていくことを確認したところです。

本年、横浜ラポールは、第三期指定管理期間の中間年にあたり、各事業の進捗状況をプレゼンし委員会の評価を受けました。概ね良好な評価をいただきましたが、残された期間で今期の目標が確実に達成できるよう、職員一丸となって取り組みます。

これからもあらゆる課題につき関係団体及び横浜市と連携し、役割を果たせるよう努力してまいります。情報提供施設の事業につきお気づきのことがありましたら、いつでも遠慮なくお知らせください。

みなさんにとって良い一年となりますよう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

施設長 竹内 恵子



## トピックス

## 【実施報告】

## 「聴覚障害者災害救援横浜市域本部」 会議について

しばらく活動が滞っていた標記会議ですが、横浜市聴覚障害者協会（以下、横聴協）の呼びかけにより活動を再開、11日1月（木）、2018年度第1回会議が開催されました。構成団体は、横聴協、情報提供施設の他、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市手話通訳者協会、横浜市要約筆記者協会の計5団体で、学習・啓発と、区レベルの団体への支援を中心とした活動を進めていく方針を確認しました。具体的な取組としては、聴覚障害者と一般市民それぞれを対象とした啓発資材について検討、作成していくことになっています。次回会議は1月10日（木）に開催されます。



津旗事業

## 【参加報告】 全国障害者スポーツ大会

10月13日(土)～15日(月)の3日間、第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会2018 -織りなそう 力と技と美しさ-」が、福井県内の各地で開催されました。横浜市からは選手44人、役員32人の総勢76人が横浜市選手団として派遣されました。うち聴覚障害の選手は陸上2人、フライングディスク4人(盲ろう者1人)、卓球1人でした。当施設の職員1人も役員に加わり、今年は陸上とフライングディスクの選手に同行し、コミュニケーション支援等を行ないました。横浜市選手団の競技成績は金メダル29個、銀メダル22個、銅メダル19個の計70個のメダルを獲得しました。メダル獲得率は47都道府県に加え20の政令都市、全67チームのうち2位という好成績で、聴覚障害の選手は全員がメダルを獲得し大活躍でした。現地の実施本部員やボランティアの方々のサポートを受けながら、各競技に参加し、日ごろの練習の成果を十分に発揮することができました。

来年は茨城県で開催されます。選手の皆さんが次の目標に向かって活躍されることを期待しています。

映像制作

## 【参加報告】 平成30年度 聴覚障害者向け ソフト制作担当職員研修会

11月15日(木)～17日(土)の3日間、長崎県聴覚障害者情報センターにて全聴情協主催の標記研修が開催され、全国の聴覚障害者情報提供施設のビデオ制作担当職員など35人が参加しました。当施設から職員1人が参加しました。

初日は「DAISYの取り組みー手話動画同期やIPTVなど今後の関わりー」をテーマにNPO法人支援技術開発機構副理事長河村宏氏より、障害のある人のためにデジタル録音図書の作成を著作者の許諾なく行えるようにする条約「マラケシュ条約37条」と「著作権法」に関係する話がありました。その後、石川県聴覚障害者センターより、インターネットなどのICTを活用した教材作りや手話の理解促進のための映像制作の流れと課題について、長崎県聴覚障害者情報センターより、ユーチューブやグーグルマップと手話動画を連動させ、観光マップを作成した経緯と経過報告がありました。最終日には5つのグループにわかれICTの活用について、それぞれの施設でどのようなスタイルで情報を発信しているのか、報告や課題について討議を行い、最後にグループ毎の発表がありました。

当施設からは、現在作成中の啓発DVD「耳のしくみ」と「聴覚障害者のコミュニケーションと対応方法」を持参し、参加者に視聴していただきました。技術の面では写真や静止画ばかりでなく、「音」の流れを視覚的に見せるようにアニメーションなどの動画をもっと活かし、他に啓発DVDの視聴対象者や指導場面を想定し、流れに合わせた映像内容を考えること、また何を伝えたいのかポイントを絞っていくことが大事だと、参加者より貴重な意見とアドバイスをいただくなど、実りの多い内容でした。



学んだことを、今後の業務で活かすよう努力していきます。

## 相談事業

# 【実施報告】 講座・聞こえと補聴器

11月5日（月）、12日（月）、27（火）の3日間、横浜市障害者社会参加推進センター、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市健康福祉局主催により「講座・聞こえと補聴器」が開催され、延べ107人が参加されました。本講座は例年3回とも横浜ラポールでの開催でしたが、今回は初の試みとして戸塚公会堂（11/12）でも行われました。5日と12日は基礎講座として、横浜国立大学名誉教授 中川辰雄氏が「耳の仕組み、補聴器について」、当施設職員と横浜リハビリテーションセンターの言語聴覚士 和泉千寿世氏が「聞こえの相談事業について」の講義をしました。職員からは、聴覚障害者情報提供施設の役割や手話通訳および要約筆記者派遣制度として、手話通訳、要約筆記者の派遣はどんな時に利用できるのか、利用の流れなどと、聞こえの相談事業についての話しをしました。参加者から通訳派遣の可能な時間帯について等の熱心な質問が多く寄せられ、関心の高さが感じられました。



【横浜ラポール】



【戸塚公会堂】

27日は応用講座として横浜ラポールにて、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 小川光彦氏の「難聴・補聴器について」と、東京医科大学教授 河野敦氏による「難聴あれこれ、人工内耳」のテーマで行われました。

## 普及・啓発事業

# 【参加報告】 「ジャズを身体で感じよう」

10月6日（土）、横浜市開港記念会館ホールにて横濱JAZZ PROMENADE 実行委員会主催により「ジャズを身体で感じよう」が開催されました。今年で25周年を迎え「『横濱ジャズプロムナード』を聴こえない方にも一緒に楽しんでもらいたい」との主催側の熱い気持ちを受けて、当施設から職員1人が2ステージのワークショップと意見交換会に参加しました。



【Bステージ：Antenna】



【Aステージ：  
振動スピーカー】

聴覚障害者でも生のジャズ演奏を見ながら、音を振動に変えてリズムを楽しむ装置を使い音楽を体験しました。Aステージでは、「振動スピーカー（デザインプロトタイプ）」を抱くように身体を密着させて全身でジャズの躍動感を感じる体験ができ、Bステージでは、髪の毛や洋服などに「Antenna（アンテナ）」という装置をはさんで、音を振動で感じる体験をして、約1時間ジャズの世界を楽しみました。

ジャズを鑑賞した後の意見交換会には、主催者と装置を開発した会社の方も同席し、実際に使用した当事者のそれぞれの音楽の楽しみ方や装置に対しての率直な意見が出されました。

## 普及・啓発事業

# 【実施報告】 手話サークルで講演しました

11月22日（木）、フォーラム南太田にて横浜市内の手話サークル「かもめ」より講演の依頼を受け「横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設と聞こえない方への対応について」をテーマに、当施設職員が事業や聴覚障害についての基礎知識などをお話させていただきました。参加者から「引越したら派遣申し込みはどうしたらいい？」「横浜市外で派遣が必要な時は？」等、積極的な質問がありました。



研修会や学習会等で、聴覚障害者情報提供施設について話をしてほしいなどご要望がございましたら、当施設の普及・啓発担当までお問い合わせください。



# 「どんぐりと山猫」&「4センチメートル」 連続公演を行います

横浜ラポールの障害者のための演劇ワークショップをきっかけに誕生した劇団「横浜桜座」が、「どんぐりと山猫」、厳選した俳優陣でプロデュースチームを結成し、「4センチメートル」を上演します。「どんぐりと山猫」&「4センチメートル」連続公演には、日本語字幕がつきます。

日時：平成31年1月26日（土）14時開演 / 27日（日）11時開演  
 会場：横浜ラポール ラポールシアター  
 チケット代：1,000円 日時指定・自由席 ※当日受付にてチケット代と引換  
 チケット申し込み・お問い合わせ先：①お名前 ②人数 ③ご観覧日時 ④ご連絡先を記入の上、  
 FAX：046-216-9206  
 メール：yokohamasakuraza@outlook.com

【字幕付き映画会】

3月10日（日）字幕付き映画会を予定しています。詳細は、「月刊ラポラポ」、ラポールホームページでご確認ください。  
 申込・お問い合わせ：横浜ラポール文化担当字幕付き映画会係 FAX：045-475-2053



## （11月末までの累計）

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	3,964	179	4,143	3,613	医療	83	195
司法	43	1	44	85	職業	20	29
教育・保育	525	38	563	509	教育	2	2
労働・雇用	531	66	597	525	住宅	16	26
社会生活	1,093	138	1,231	951	生活	160	264
自己啓発	189	41	230	217	福祉	134	252
福祉推進	750	1,009	1,759	1,717	法律	12	26
相談員	3	0	3	0	聞こえ	12	14
他都市	136	17	153	150	合計	439	808
合計	7,234	1,489	8,723	7,767	昨年同月	371	681
昨年同月	6,369	1,398	7,767				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	34	参加人数	1,085	自主制作作品数	46
要約筆記	回数	19	参加人数	393		



11月

- 1日 災害救援横浜市域本部会議（聴障団体）
- 4日 通訳Ⅲ実習運営（横聴協）
- 5日 聞こえと補聴器講座（基礎）講師対応
- 6日 職場体験（榊町中学校）
- 7日 要約筆記者研修
- 7日 要筆登録試験委員会（浜難聴）
- 7日 手話試験対策（横聴協）
- 10日 手話課題別研修
- 12日 聞こえと補聴器講座（基礎）講師対応
- 12日 非常勤手話通訳会議
- 15~17日 全聴情協7/7制作担当者研修（長崎県）
- 17日 手話課題別研修
- 18日 県ろう者大会式典（神聴連・戸塚公会堂）

- 20日 遠隔通訳調査対応（全日ろう連）
- 21日 手話養成リター-会議・運営委員会（横聴協）
- 22日 手話登録試験委員会（横聴協）
- 23日 手話養成伝達講習（横聴協）
- 26日 衛生委員会
- 27日 聞こえと補聴器講座（応用）
- 30日 手話登録試験前日準備（横聴協）

12月

- 1日 手話登録試験（横聴協）
- 4日 健福局主管課定例会（11月分）
- 5日 要約筆記者研修
- 5日 福祉局業務監察
- 7日 関東ろうあ者相談員連絡会（東京）

- 8~9日 手話登録試験審査会（横聴協）
- 10日 ラポール運営委員会
- 10日 非常勤手話通訳者会議
- 11日 視聴覚機器点検
- 12日 手話登録試験審査会（横聴協）
- 12日 共創推進課研修（男女参画センター）
- 13日 災害救援本部打合せ（横聴協）
- 13日 研究発表会会議
- 19日 要筆登録試験委員会（浜難聴）
- 19日 手話養成運営委員会（横聴協）
- 26日 事業団研究発表会
- 28日 仕事納め
- 28~1/4 ラポール休館
- 29~1/3 情提休業

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成30年12月28日  
 発行者：（社福）横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設  
 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059  
 ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>